

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願ひ

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

流体力学解析を用いた FFR と心臓カテーテル検査で測定した FFR との比較
<p>1. 研究の対象および研究対象期間</p> <p>2015年4月1日から2019年2月28日までに、当院において心臓CT検査を施行し、半年以内に心臓カテーテル検査でFFRを測定している患者さんを対象としています。</p>
<p>2. 研究目的・方法</p> <p>経皮的冠動脈形成術（PCI）は、様々な手法によって虚血評価を行いエビデンスに基づいて治療が行われています。中でも冠動脈狭窄の生理学的診断法である瞬時血流予備量比（iFR）に関する大規模臨床試験、DEFINE FLAIR と iFR SWEDEHEART では、iFR 群では冠血流予備量比（FFR）群に比べ、手技中の合併症が少なく、手技時間の短縮が報告され、iFR がカテーテル検査でのスタンダードになりつつあります。また、近年、流体力学（CFD）解析による画像診断支援および病態予測が注目されています。本研究の目的は、CFD 解析を用いた FFR と心臓カテーテル検査で測定した FFR を比較し、CFD 解析が FFR を算出でき虚血評価が可能か検討します。</p> <p>研究期間</p> <p>「医学部人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、病院長の研究実施許可を得てから 2020年 3月 31日</p>
<p>3. 研究に用いる試料・情報の種類</p> <p>2015年4月1日から2019年2月28日までに、当院において心臓CT検査を施行し、半年以内に心臓カテーテル検査で FFR を測定している測定している患者さんのデータの中から性別、年齢、診断名、身長、体重、既往歴、X線画像、CT画像、血管撮影画像を調査対象としております。</p>
<p>4. お問い合わせ先</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>所属：昭和大学病院 放射線技術部 住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 研究責任者：橘高 大介</p> <p>氏名：橘高 大介 電話番号：03-6426-3122</p>